

高岡市教委

高岡市教委は、高齢者による万引防止へ、小学生の防犯標語を推奨する。昨年に木津小の児童が考えた防犯標語を市内のスーパーで掲示して以降、万引の認知件数が減少した成果があったことから、他校での取り組みにも協力する。

19日に開かれた市議会個別質問で、福井直樹氏（自民同志会）の提案に対し、氷見哲正教育長が答えた。

防犯標語は、県内で増える高齢者による万引を防ぐため、孫世代

高齢者の犯行抑止へ推奨

小学生標語 万引に効果



店内に掲示された防犯標語。高岡市教委は市内の小学校に防犯標語の取り組みを推奨する

—昨年8月、市内のスーパー

に当たる児童の純真な言葉で犯行の児童が考えた「万引は笑顔を踏みとどまらせる狙い。木津小なくす 重い罪」などの標語を昨

年8月にスーパーの店内に張り出して以降、万引の被害が減ったという。

氷見教育長は、道徳教育や生徒指導の一環として行った木津小の取り組みについて「児童が防犯活動に一定の貢献をしたばかりでなく、児童の万引防止の意識高揚にもつながった」との見解を示した。

福井氏が他校でも展開を求めたのに対し、氷見教育長は「警察署や関係団体などから依頼があれば、可能な限り協力するよう指導したい」と述べた。